

スローライフだより 40

~Think globally, act locally~

第40号
特定非営利活動法人
スローライフ宮崎

〒880-2114 宮崎市大字富吉793番地1

TEL/FAX 0985-62-4233

<http://www.slow-life.or.jp>

9月18日(木) 晴

生目小学校5年生 生き活き学習田の稲刈りを行いました！



行事報告

8月 28日
29日～30日

生目の杜運動公園円形プロムナードコスモス播種
生目の杜運動公園はんぴドーム北南東側花壇・玄関前鉢植栽
(コリウス・メランポジウム・アングロニア)

9月 4日
16日
18日

めがね供養祭実行委員会第1回打ち合わせ会議
宮崎西小学校5年生 西小っ子のうえん 稲刈り
生目小学校5年生 生き活き学習田 稲刈り



10月 1日
2日
7日
10日

めがね供養祭実行委員会第2回打ち合わせ会議
生目小学校昼食会及び生目社会福祉協議会お米贈呈式
第3回 役員会
めがね供養祭



生目の杜運動公園 ボランティア斉清掃のお知らせ

日 時:平成26年10月26日(日) 午前8:30～

集合場所:アイビースタジアム正面玄関前

ごみ拾い 小雨決行(事前申し込み不要です)



STAP細胞問題についての感想（後）



芋生 紘志



スローライフだよりに前半の原稿をお届けしてから3ヶ月が経ちました。いろいろなことがありましたが、それらも含めてSTAP細胞問題をまとめてみたいと思います。

1. STAP細胞とこれまでの「万能細胞」との違い

STAP細胞は、新しい万能細胞として注目を集めましたので、これまでの万能細胞との違いを見ておきましょう。「万能細胞」というのは、神経や筋肉など、どんな組織でも作れる細胞のことで、動物の発生の出発点となる受精卵は万能細胞の1つです。また、受精卵が何回か細胞分裂した胚細胞も、受精卵の万能性を保っています。その胚細胞を人工的に培養して何でも作れる（胚そのものでない胎盤を除く）株に育てたものが胚性幹細胞・ES細胞です。

ES細胞の次に作られた万能細胞は、山中伸弥教授らのiPS細胞です。彼らは、まず胚細胞などの万能細胞で働いている遺伝子を調べ、万能性を支えている4つの遺伝子を特定しました。次にその4つの遺伝子を、皮膚などに分化して万能性を失っている細胞に取り込ませ、万能性を回復させたのです。この何にでも分化できるiPS細胞を網膜の細胞に分化させ、網膜の病気の治療に使う試みなどが始まっています。

このように、ES細胞もiPS細胞も、実際の万能細胞を調べて、それを再現する形で作られていて、万能性の根拠が明らかです。これに比べると、STAP細胞は、弱い酸性溶液に浸けるなど、いろいろな条件で細胞を培養し、その中から、たまたま万能性を獲得した細胞を選び出したというもので、万能性の根拠は分かりません。

2. STAP細胞は作れるか

STAP細胞論文では、著者達にそれぞれの役割分担があって、STAP細胞の作成は小保方晴子氏の担当でした。ですから、STAP細胞は小保方氏の実験の結果としてできたわけです。しかし、小保方氏は、STAP細胞の作り方を正確に記載していませんでした。というのは、検証チームの中間報告によれば、論文に書かれた方法でSTAP細胞を作れなかったからです。多くの大学でもSTAP細胞の作成が試みられたと推察されますが、成功の報告は全くありません。

STAP細胞論文の共著者である若山照彦氏や丹羽仁史氏（検証チームのリーダー）さえもが作れなかったということから、STAP細胞はできない可能性が高くなりました。さらに、笹井芳樹氏の自殺があります。彼は、STAP細胞が人類の宝となることを信じて推進していたと思います。もし、心の中にSTAP細胞はできるという明るい確信があれば、どんな重圧にも耐えられた筈ですが、自殺を選んだということは確信がなかったということでしょうか。

残るのは、小保方氏が再び万能細胞を作れるかどうかです。笹井氏の自殺やバカンティ氏の休職報道、自身への博士号取り消し通告等で実験できる精神状態ではないのかも知れませんが、200回もSTAP細胞ができたと言っていたのに、いまだに再現実験成功の報告はありません。これらの現状から、STAP細胞はできない、と思います。しかし、理研と小保方氏が期限をきって検証していますのでその結論を待ちましょう。STAP細胞が再現できれば全てがうまく収まりますが、もしできなければ、小保方氏がどのように「万能細胞に見えるもの」を作ったのか、厳しく問いただされるのは避けられないでしょう。

3. STAP細胞問題が残したもの

華々しい記者会見で始まったこの問題は、歴史に残る大スキャンダルになり、多くの教訓を残しそうです。なかでも、「追試が成功することの確認は、論文を発表する前にすませておくこと」という当然のことの再確認は、とりわけ重要な教訓だと思います。実験の担当者は、200回でも成功する、と主張することもあるわけで、その辺にどう対処して確認するかが理研のような研究組織の運営者や、ネイチャーのような科学雑誌編集者の頭のひねりどころでしょう。（2014年10月3日）





生目小学校5年生 生き生き学習田

9月18日(木) 稲刈



落ちていた稲穂をせっせと集めて運んでいる男の子がいました。食べ物を大切にする心が嬉しく思いました。

9月中旬は雨が降る日が多かったのですが当日は秋晴れの稲刈り日和になりました。

鎌で刈り取った稲をコンバインに運んで脱穀します。白米にして288.4kgの収穫がありました。

昼食会 10月2日



教室の黒板にはメッセージ、そして生徒さん一人一人からの心温まるお手紙の冊子を頂き、昼食会終了後にはソーラン節を披露して頂きました。ありがとうございました。



お米贈呈式！10月2日 (生目社会福祉協議会)



生目小5年生からご招待頂いて、収穫したお米を給食と一緒に頂きました。

見守り隊のお礼として生目の14地区のふれあい昼食会に使って頂くために贈呈しました。



宮崎西小学校5年生 西小っ子のうえん

9月16日(火) 稲刈



夏場の日照不足の影響で稲の生育を心配しましたが黄金色したきれいな稲穂ができました。



鎌の使い方など注意事項をお話しました。真剣な眼差しで聞いてくれました。



大塚台地区の地域の方々もボランティアでお手伝いして頂きました。



暑い中での作業でしたが一生懸命頑張っていました。白米にして、301.3kgの収穫がありました。

めがね供養祭



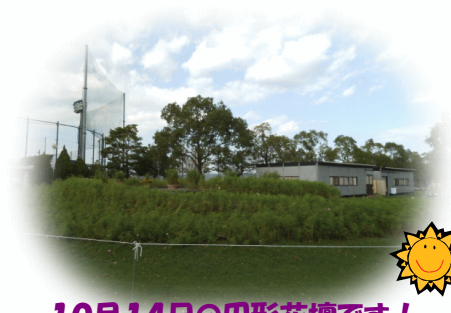
10月10日の目の愛護デーに、不要になった「めがね」を生目神社にて供養し、供養されためがねを宮崎県ボランティア協会を通じて発展途上国へ寄贈しました。今年も県内外から972本のめがねを送って頂き、その中で使用可能な420本を寄贈しました。



生目の杜運動公園円形花壇植栽



8月28日～30日に円形花壇と南駐車場南側出入り口（柏原側）花壇とはんぴドーム周辺の植栽作業を行いました。二度の台風襲来で花の生育を心配しましたが、順調に育っていますので、今年リーグ優勝したソフトバンクホークスの11月のキャンプの頃には色とりどりの花が咲きほこることでしょう。



10月14日の円形花壇です！

10月～1月の予定



10月 26日
12月 上旬
1月 下旬

生目の杜運動公園周辺ボランティア清掃
生目の杜運動公園円形プロムナード花壇植栽
生目の杜運動公園周辺ボランティア清掃



委託業務関係



11月～1月
毎月第1火曜日
毎月第2火曜日
※ 駐 車 場
※ 花 壇 管 理

駐車場料金徴収員会議
花壇管理者会議

土、日、祝日、キャンプ期間中 駐車場料金収納・送迎車両誘導
(10:00～18:00)

スローライフ事務所
スローライフ事務所



お便り大募集！ 41号(1月発行予定)、42号(4月発行予定)

スローライフ宮崎では、皆さんからのお便りや、こんな企画があったらいいなという声を募集しています。また、写真(返却いたします)も大歓迎！！お葉書やFAXをお待ちしています。

(TEL/FAX 0985-62-4233)



編集後記



年4回発行している“スローライフだより”は今回、節目の40号を迎えました。宮崎市から受託している事業の報告として、組織を立ち上げてから1年半後の平成17年1月1日に創刊号を発行。ちょうど10年経過したことになります。最近では形式も整い、またすばらしい書手にも恵まれおほめの言葉をいただくこともあります。前回と今回2回連続で、宮崎大学名誉教授の芋生紘志さんに、新しい万能細胞として脚光を浴びたSTAP細胞について感想をいただきました。解かりやすく問題点を整理し説明していただき心より感謝しています。ありがとうございました。コラム欄は今後いろんな分野のすばらしい書手にお願いしようと考えています。(長谷川)